

石丸由佳オルガン・リサイタル ～夢見る宇宙とオルガンと～ [2021.6.26]

りゅーとぴあコンサートホールで物理学の権威の講義が聴けるとは!斬新です。パイプオルガンと天の川の組み合わせ、最高でした。感動しました。(50代/新潟市)



オルガンの音色の組み合わせが6兆種類というのに驚きました。その多様で幅の広い音域、重なり合うスケールがまさに宇宙そのものだと思います。(60代/新潟市外)

遠藤麻理の能楽入門「お能で美しく?」 [2021.7.17]

日本の文化について、もっと目を向けてみようという気になった。そのきっかけを作ってくださった遠藤麻理さん、ありがとうございます。(40代/新潟市)



山階先生のお話、お人柄が素晴らしく、(中略)謡のお声、一挙手一投足がこの世のものとは思えない、鍛錬を重ねてこられた成果であると感じました。(40代/新潟市)

ストラヴィンスキー没後50年 Noism0+Noism1+Noism2『春の祭典』 [2021.7.2~4]

全く知らない土地である新潟に赴任してきて、たまたま「ノイズム」という舞踊団に出会い、今、この公演を観た巡り合わせにとっても感謝する。(20代/新潟市)



魂に響く踊りに感動しました。ステージの世界に引き込まれ、現実を忘れて心にとげのように刺さり、心の奥底まで響きました。(50代/新潟市)

子どものための芸術文化体験事業 オーケストラはキミのともだち [2021.7.31]

皆で参加する場面もあり、一つになる感じがとても楽しかったです。音楽でみんな友達になれると感じました。どの作品もとても心地よかったです。(10代~20代/住所不明)



5歳の長女は「すごいね!」ととても感動しておりました。親子で本格的な演奏を聞けるのは本当にうれしく良い時間となりました。(30代/新潟市)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

1 りゅーとぴあ オルガン・クリスマスコンサート2021



公演日
12月17日(金) 19:00
会場:コンサートホール

抽選で
ペア2組4名様

2 Noism0/Noism1 「境界」



公演日
12月17日(金) 19:00
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

3 【日本全国 能楽キャラバン!】 「宝生流特別公演～高砂～」



公演日
2022年1月8日(土)
13:00
会場:能楽堂

抽選で
ペア2組4名様

応募方法:(1)ご希望の公演名(2)〒住所(3)氏名(4)年齢(5)電話番号(6)本誌を入手した場所(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.66プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2021年11月30日(火)必着

お問い合わせ 休館日:毎月第2・第4月曜日、年末年始(12/29~1/3) ※祝日の場合はその翌日

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (11:00~19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (11:00~19:00)
- 施設利用お問い合わせ TEL.025-224-5621 (9:30~18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631 (平日 10:00~18:00)
- 事業企画部 TEL.025-224-7000 (平日 10:00~18:00)
- 新潟県民会館 TEL.025-228-4481
- 音楽文化会館 TEL.025-224-5811

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリニピア日本海、ほんぼーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問い合わせは事業企画部 広報営業課まで次号vol.67は2022年1月1日発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館を一体的に管理しています。

編集後記

暑かった夏も終わり、すっかり秋になりました。今号の表紙写真は、昨年の秋に屋上庭園でスタッフSさんが撮影したのですが、実はスマートフォンで撮った一枚です。夕映えのパンパスグラスが美しい。スマートフォンのカメラ性能に驚きつつ、撮影者の視線や切り取り方も素敵で、一眼レフ使いの広報スタッフも立場がありません。これから秋は深まり周辺の木々は色付いて、フォトジェニックな季節が訪れます。ぜひカメラを持って、りゅーとぴあへお越しください。(T)



その先の感動へ

RYUTOPIA MAGAZINE

Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users

alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

vol. 66
2021 Autumn



Life with Performing Arts



りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)



Ryutopia Magazine 2021 Autumn vol.66 2021年10月1日発行

発行:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)
編集:りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 制作:株式会社 新交企画
デザイン:株式会社 U-STYLE 印刷:島津印刷株式会社

演劇が救いになる。 それは絶対にあると思う。

1992年、バブル崩壊期に発表された太田省吾による戯曲『更地』。自分たちの家があった空き地で、初老の夫婦が過去を回想する二人芝居で、時代の節目ごとに何度も再演されてきた。今回の上演で、夫役を演じる濱田龍臣さんに意気込みを尋ねた。

濱田龍臣 HAMADA Tatsuomi

2000年千葉県出身。幼いころから芸能活動をスタートさせ、2010年にNHK大河ドラマ『龍馬伝』で坂本龍馬の幼少期を演じ注目を集めた。テレビドラマ、映画、CM、バラエティなど幅広く活躍。2017年、テレビ東京系『ウルトラマンジード』で主人公・朝倉リク役を務める。2020年7月・8月に三谷幸喜作・演出『大地(Social Distancing Version)』、同年11月・12月には杉原邦生演出『オレステスとピュラデス』に出演し、演劇ファンが選出する『勝手に演劇大賞2020』で新人賞を受賞。舞台俳優としての評価も高い。

取材・文／本間千英子 撮影／吉野洋三
スタイリスト／丸山晃 ヘアメイク／国府田圭

——演出の杉原邦生さんから直接、出演を依頼されたそうですね。

『オレステスとピュラデス』に続き、今回も信頼していただけなのは役者冥利に尽きます。杉原さんはキャスティング理由を「パワフルだし、若いのが地に足が付いている」とインタビューでおっしゃっていて、そこまで言われたら「やるしかない」という気持ちです。毎回、舞台が終わると燃え尽きているので、自分ではパワーがあるのかわかりませんが、そう言っていただけで本当にうれしかったです。まだ実年齢が二十歳なのに初老の役というので、最初は驚きました。

——杉原さんの演出について感じることは。

すごく役者を信頼してくれます。『オレステスとピュラデス』でも、一方的に演出されるのではなく、ディスカッションしながら稽古を進められたので、役者として演じやすかったです。稽古を重ねるごとに、作品の世界が広がっていくんですよ。

——『更地』の台本を読んで、イメージしたことはなんでしょうか。

「液体」のようだと思います。手でつかめない「水」のような…。「水」にも「水蒸気」にもなりえる作品。お客さまにとっても、演じ手にとっても自由度が高くて、だからこそ何度も再演される魅力になっている。変幻自在な世界ですね。台本を読み込み、稽古を重ねて、作品に対する「解像度」を上げ、どう見せるかを探りながら進んでいきたいです。

——すでに10年以上、役者としてキャリアをお持ちです。転機になった出来事は。

中学生のころ、オーディションに受からないことが続いて「こんなに作品に呼ばれないのに、役者をやっても意味がないんじゃないか」とネガティブになった時期がありますが、「だったらさっさと辞めてしまえ」と父親に言われ、逆に奮起して続けてこられました。今思えば反抗期だったのかな(笑)。その後、『ウルトラマン』シリーズの1本で主役を演じたことは、

自分の中で大きいですね。ウルトラマンにはずっと憧れていて、演じることが夢だったんです。ウルトラマンとしてショーに出演した際に、見ている子どもたちの笑顔がすてきで、「この笑顔を守り続けたい」という使命感が生まれました。「ウルトラマンになった人」は、かつての僕が思っていたように特別な存在。一生を役者として生きようと覚悟したのはその時からです。

——新型コロナウイルス禍での公演です。

このような状況下で、演劇が救いになる部分は絶対にあると思っています。生の舞台から受け取るエネルギーは計り知れないほど大きいし、このご時世だからこそ、上演すべきお芝居があるのではないのでしょうか。

——『更地』はまさに、今やるべき作品だと感じます。

「初心を忘れない」大切さを気付かせてくれる作品のように感じます。「なぜ今、自分はここにいる、こうしているのか」という疑問を探索して未来につなげることや、生きていの中で少し立ち止まって、本来の目的を思い起こすことの素晴らしさが、お客さまに伝わればうれしいです。人生っていろいろあるけど、気負い過ぎたり、思い詰め過ぎたりしないでいい、というメッセージも込められたらいいですね。舞台経験の浅い僕にとっては挑戦といえる役ですが、お客さまが明日の活力にできる舞台になるよう頑張ります。



Information

南沢奈央×濱田龍臣 KUNIO10『更地』

【日時】10月30日(土)15:00開演 【作】太田省吾
【会場】劇場 【演出・美術】杉原邦生
【料金】全席指定5,800円 【出演】南沢奈央 濱田龍臣
U25 2,500円

ひとりの舞踊家として、 今、この瞬間を踊りたい。

ベジャール・バレエ・ローザンヌで活躍後、現在は南仏を拠点に活動する世界的舞踊家・小林十市さん。今秋リゅーとびあで上演する「エリア50代」についてや、小林さんと共にベジャールの薫陶を受けた金森穂(Noism芸術監督)との思い出などを語ってもらった。

小林十市 KOBAYASHI Juichi

ダンサー・振付家。1969年生まれ。1979年に小林紀子バレエシアターでバレエを始める。数々の賞を受賞し、1989年、スイスのベジャール・バレエ・ローザンヌ(BBL)に入団。『春の祭典』、『火の鳥』、『くるみ割り人形』、『シエラザード』など数多くのベジャール作品に出演。BBLを退団後、世界各国のバレエ団にベジャール作品の振付・指導を行っている。2004年「エリザベス・レックス」で俳優デビュー。以後、テレビドラマや映画、ラジオなどに出演するなど俳優、ダンサー、振付家として活躍。現在はフランスを拠点に後進の指導にあたっている。祖父は落語界初の人間国宝、故・五代目柳家小さん、弟は作家・柳家花緑。

「エリア50代」リハーサル写真
振付／アプー・ラグラ 撮影／鈴木穂藏

——世界の第一線でご活躍です。

正直自分が「世界の第一線で…」とは思っていませんが、そんなことを思っていた時期があった気もします(笑)。1993年ベジャールさんが東京バレエ団に「M」という作品を創作した時に僕も客演し、振付けアシスタントも務め、翌年には世界バレエフェスティバルに呼んでもらって。あの頃、若き日の驕りはあったかもしれません。

今も様々な振付指導の依頼はありますが、それはジル・ロマン(ベジャール・バレエ・ローザンヌ芸術監督)や東京バレエ団が、僕が歩んできた道を信頼し、好意でくださる仕事だと思っていますよ。

——ベジャールから受けた影響は。

ベジャールさんの生活／人生であったバレエ団に入ることは、ある意味彼の生活の一部になるということ。創作活動を共にし、世界各地を巡り、時には食事と一緒に家族のようになります。大人数のバレエ団で国籍も文化も宗教も違う仲間たちと過ごしていると、驚くほど様々なことを体験します。「影響」と一言では言い尽くせない

い歳月が重なって層となり、今の自分を形成していると思いますね。

——金森穂との思い出を教えてください。

僕のローザンヌ生活も3年目に入りバレエ団にも慣れて来た頃、ベジャールさんが設立したバレエ学校の生徒だった穂くんとの出会い、僕にとって初めての「後輩」ができました。家に招いて食事をしたり、踊りや生活のことを母国語で話してホッとくつろげる時間を共有したのを覚えています。

穂くんが卒業してからもツアー先のオランダやフランスで彼の活躍を見ることができ、数年おきに会うような関係でした。後に僕がバレエ団を辞めて演劇界に入り、大地真央さん主演「トスカ」のリゅーとびあ公演を彼が観にきてくれて、「ちゃんと役者やってる」と言ってもらえました(笑)。

——この秋、リゅーとびあで「エリア50代」を上演します。ものすごい顔ぶれですね。

僕と近藤良平さん、ゲストの伊藤キムさん、平山素子さんらスタイルの異なる50代のダンサーそれぞれのソロからなるトリプルビルです。「エリア50代」を思い付いたとき、まず「近藤良平さんともう一度仕事がしたい」と思いました。それともうひとつ、自分が紹介されるとき「元ベジャール」の肩書を取り除きたかった。

——ひとりの舞踊家 小林十市というように。

はい。そのためにはベジャールさんの作品以外を踊るしかありません。脱ベジャールを目指すには外の振付家の作品を踊る必要があります。参加アーティストの皆さんには振付等をお願いしました。

僕から「元ベジャール」が一生消えることはないけれど、「今」を踊りたいという気持ちが強くありました。その上で、自分は50代の身体で何ができるのかに向き合っていく。20代、30代のような瞬発力や持久力もない今、どんな表現ができるのかを模索することで、きっと普段自分が感じないことや身体感覚と向き合えるはずだと思っています。

——新潟のお客さまに一言お願いします。

今回日本で踊るのは数年振りになります。今も現役時代も同じで、日々どれだけ稽古を重ねても舞台の前は緊張と不安に押し潰されそうになります。

「自信をもって踊ります」なんてなかなか言えませんが(笑)、良い作品を皆様にお届けしたいと思いますので、ぜひお越しください。

Information

エリア50代

【日時】11月13日(土)18:00開演 【会場】能楽堂
11月14日(日)15:00開演

【出演】小林十市、近藤良平／伊藤キム(13日)、平山素子(14日)
【料金】全席指定4,000円 U25 2,500円
高校生以下1,000円



2021年、秋～冬のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込の「りゅーとびあ
カレンダー」をご覧ください。

下半期の「1コイン・コンサート」ももうご期待。最高のアーティストを500円で!

「カラフルな響き
“サクソフォン四重奏”」

期待の新星。卓越した
テクニックと緻密なアン
サンブルに度肝を抜か
れること間違いなし!

出演:アーバン サクソフォン
カルテット
(サクソフォン四重奏)



アーバン サクソフォンカルテット(サクソフォン四重奏)

■10.15(金) 11:30開演 ■コンサートホール

Vol.115

「17歳・天賦の才!“ピアノ”」

数々の国際コンクールを
史上最年少で制覇し、世
界的ブランドのシャネル
も支援する現役高校生
ピアニスト!

出演:八木大輔(ピアノ)



八木大輔(ピアノ)

■11.12(金) 11:30開演 ■コンサートホール

Vol.116

「荘厳な響き“オルガン”」

2つの国際オルガンコン
クールで第1位に輝いた
逸材。りゅーとびあオル
ガンを多彩に演出!

出演:三上郁代(オルガン)



三上郁代(オルガン)

■12.3(金) 11:30開演 ■コンサートホール

Vol.117

子どもたちと、かつて子どもだったすべての大人たちに贈るSFファンタジーオペラ

オリジナルの日本語オペラを多数上演しているオペラシアター
こんにゃく座。2004年、2016年に続き3度目の上演となる「口はロボットの口」は、楽しい歌の数々と、ユーモアあふれる登場人物、スリリングなストーリー展開が魅力。りゅーとびあスタッフにもファンが多い作品です。マイクを使用しない生の歌声とピアノの生演奏で作り出す物語の世界に、子どもも大人も夢中になることうけあい。きっと帰り道で「テトのパンはあー、あいうえおのあ!」と歌ってしまいますよ。

【台本・演出】鄭 義信
【作曲】萩 京子



撮影:青木司



撮影:青木司

オペラシアターこんにゃく座 オペラ『口はロボットの口』 ■11.28(日) 13:30開演 ■劇場

りゅーとびあアウトリーチ事業 第4期登録アーティスト連続リサイタル

第4期登録アーティストとして小学校を訪問し、聴く人々に音楽や楽器の魅力を届けてきた小武内茜と田村亮太。新型コロナウイルスの影響により2019年度のみ活動ながら、登録アーティストの活動の集大成として、スタジオAにて連続リサイタルを開催いたします。ぜひお聴き逃しなく!

新潟県燕市(旧吉田町)出身、首都圏や新潟県内で活躍中のファゴット奏者、小武内茜によるリサイタル。普段あまり聴く機会のないファゴットのオリジナル曲から、ファゴット奏者にとって重要なレパートリーであるサン＝サーンス「ファゴット・ソナタ」ほかを演奏。共演はソロ・室内楽・指揮でマルチに活躍しているピアニストの中川賢一。



小武内茜(ファゴット)

小武内茜 ファゴット・リサイタル ■12.11(土) 14:00開演 ■スタジオA

新潟市出身で、クリアな音色と超絶技巧が魅力の田村亮太。アウトリーチでも好評を博し、自身の想い入れも強いドゥメスマンの「ファンタジー」や、サクソフォン随一の名曲であるグラズノフの「サクソフォン協奏曲」、今年生誕100年で話題のピアソラの作品等を披露。共演は、名手の白石光隆。20代最後に贈る渾身のリサイタルです。



田村亮太(サクソフォン)

田村亮太 サクソフォン・リサイタル ■12.12(日) 14:00開演 ■スタジオA

クリスマスにお届けする、パイプオルガンとチェロで奏でる祈りの音楽

クリスマスの季節にりゅーとびあがお届けする恒例のオルガン・クリスマスコンサート。今年も専属オルガニスト石丸由佳のアイデアによるオルガン音楽のクリスマスプレゼントを観客の皆さまへお届けいたします。

ゲストにチェロ奏者の伊藤悠貴を迎え、パイプオルガンとチェロのアンサンブルでクリスマスを彩ります。きっと新たなオルガンの一面をご覧いただけることでしょう。りゅーとびあオルガンをまだ聴いたことがない方も、何度も聴いてくださっている方も、すべての来場者の方に素敵なクリスマスのひとときが訪れますように。

【オルガン】石丸由佳(りゅーとびあ専属オルガニスト)
【ゲスト】伊藤悠貴(チェロ)



石丸由佳(オルガン)



伊藤悠貴(チェロ)

りゅーとびあ オルガン・クリスマスコンサート2021 ■12.17(金) 19:00開演 ■コンサートホール

2019年ピティナ特級&日本音楽コンクールと国内最難関の2大コンクールを17歳で制覇!!

17歳で国内最難関の2つのコンクールを制覇し、現在大ブレイク中のピアニスト亀井聖矢。自在な打鍵と絶妙なペダルコントロールから生み出される、信じられないほどの多彩な音色が魅力です。20歳を迎えた翌日の新潟公演では、「24の前奏曲」「バラード第1番」「英雄ポロネーズ」などのオール・ショパン・プログラムを披露。若き天才ピアニストによる直球勝負は、ピアノ・ファン必聴です!



亀井聖矢(ピアノ)

りゅーとびあ・会員限定コンサートVol.3
亀井聖矢 ピアノ・リサイタル「オール・ショパン」
■12.21(火) 19:00開演 ■コンサートホール

身体の今に向き合い、未知の表現を拓く
50代ダンサーの新境地

50代で踊っている…一般人からしたら、それだけで尊敬に値すると思いませんか?小林十市、近藤良平、伊藤キム(13日ゲスト)、平山素子(14日ゲスト)の個性的な50代ダンサーが、他者の振付により自身の身体とじっくり向き合います。日本最大のダンスフェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA2021」の人気公演をりゅーとびあ能楽堂バージョンで!



小林十市



近藤良平



伊藤キム



平山素子

エリア50代
■11.13(土) 18:00開演・11.14(日) 15:00開演 ■能楽堂

金森穰×東京バレエ団が世界に向けて発信する日本発のグランド・バレエ、開幕

りゅーとびあ 舞踊部門 芸術監督であり、Noism芸術監督の金森穰が東京バレエ団に新作を委嘱されました。その新作「かぐや姫」第1幕をこの度、新潟で上演いたします。

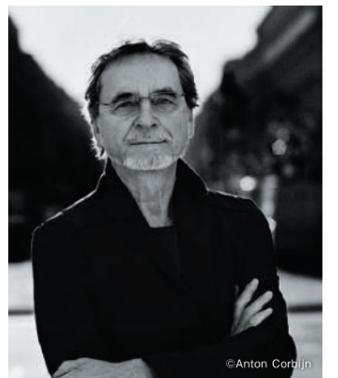
今回上演するのは第1幕ですが、第2幕、第3幕と創作をつづけ、全幕の物語バレエとして完成させていくという数年がかりのプロジェクトだそう。その開幕をどうぞお見逃しなく。

同時上演は、金森の師であるキリアンが作曲家 武満徹とコラボレーションした名作「ドリーム・タイム」。

【主な配役】
かぐや姫:秋山瑛(13:00) / 足立真里亜(17:00)
道児:柄本弾(13:00) / 秋元康臣(17:00)
翁:飯田宗孝(13:00、17:00)



金森穰



イリ・キリアン

東京バレエ団 金森穰「かぐや姫」第1幕 世界初演 / イリ・キリアン「ドリーム・タイム」 ■11.20(土) 13:00開演・17:00開演 ■劇場

**シニア劇団りゅーと旗揚げ公演
出演者60歳以上限定!**

昨年60歳以上を対象に開催したリーディング体験ワークショップ発表会に集った有志が、シニア劇団を立ち上げました。今回が記念すべき旗揚げ公演となります。
2日間4回の公演では、毎回シンデレラが変わり、4人の役者がそれぞれのシンデレラを演じます。その恋のお相手である王子も4人の役者がそれぞれ演じます。



リーディング体験WS発表会より(2021年2月)

シニア劇団りゅーと「シンデレラの物語」 ■能楽堂
■10.2(土)14:30開演・18:30開演 10.3(日)13:30開演・17:30開演

**聞こえる人も聞こえない人も共に楽しめる
「手話狂言」の公演を開催します**

日本ろう者劇団の手話と三宅狂言会(和泉流)の声の両方で表現豊かに演じる「手話狂言」の公演を、新潟市で初めて開催します(演出・指導は三宅右近)。
演目は狂言ではなじみ深い「六地藏」と「臯山伏」2演目です。
「狂言」と「手話狂言」との違いについても解説します。ぜひ、ご鑑賞ください。



狂言「六地藏」

「手話狂言」 ■能楽堂
■12.11(土)13:30開演

**県大会を勝ち抜いた精鋭がりゅーとびあに集結!
全国大会の切符を手にするのは!?**

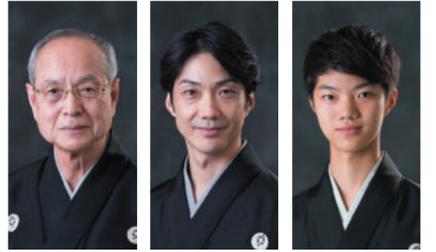
高校演劇日本一を目指す演劇部が全国に約2000校。その中でも激戦ブロックである関東・北ブロック。埼玉県・栃木県・群馬県・長野県・千葉県、そして新潟県の各県代表の精鋭が、全国大会への切符をかけてりゅーとびあに集います。上演時間60分の中で高校生たちが躍動し、そこから生まれる笑いや涙、そして感動。青春舞台にすべてを捧げた高校生たちの熱演にご期待ください!



第57回関東高等学校演劇研究大会 -新潟会場-
■2022.1.22(土)・23日(日) ※時間未定 ■劇場

野村万作・萬斎・裕基の「狂言三代」がりゅーとびあに登場!

人間国宝・野村万作と、狂言という枠にとどまらず俳優としてドラマ・映画・舞台などで幅広く活躍の場を広げる野村萬斎。今回は萬斎の長男・野村裕基が満を持してりゅーとびあ・能楽堂に登場します。野村万作・萬斎・裕基の「狂言三代」を是非ご堪能ください。完売必至の公演をどうぞお見逃しなく!



野村万作 野村萬斎 野村裕基

野村万作・萬斎狂言公演
■2022.2.19(土)13:00開演・17:00開演 ■能楽堂

**フィリップ・リドリー×白井晃 2015年日本初演の衝撃作!
吉沢亮と北村匠海が、過酷な状況下で生きる兄弟役に挑む!**

イギリスの劇作家フィリップ・リドリーが2005年に書き下ろし、日本では2015年に白井晃の演出で初めて上演された「マーキュリー・ファー」。リドリーの他の作品と比べ、より過激な表現、より挑発的なセリフが次々と繰り出される作風で、極限状態に置かれた人間の残酷さが描かれています。暴力と略奪がはびこる荒れ果てた世界であぶりだされる人間の本性を世の中に鋭く突きつけるとともに、生きること、愛することを渴望する人間の美しさが描かれた衝撃作。初演時に観客に大きな衝撃を与えた作品が、およそ7年ぶりに再演され、新潟初登場です。過酷な状況下で生きる兄弟役に挑む、吉沢亮、北村匠海を含め、魅力的な俳優陣の共演にご期待ください。



【作】フィリップ・リドリー 【出演】吉沢亮 北村匠海
【演出】白井晃 加治将樹 宮崎秋人 小日向星一 山崎光
【翻訳】小宮山智津子 水橋研二 大空ゆうひ

「マーキュリー・ファー Mercury Fur」 ■2022.2.23(水・祝)13:00開演 ■劇場

演劇をより身近に。より豊かに。ままごとの珠玉の短編2本立て

「演劇を“ままごと”のようにより身近に。より豊かに。」をコンセプトに、劇作家・演出家の柴幸男を中心に、唯一無二の活動を続ける劇団ままごと。代表作とともに久々にりゅーとびあに登場です! 家族の朝の風景を描いた「反復かつ連続」は、登場する6人の女性を1人の役者が演じ、多重録音のようにひとつの家族像が浮き上がる作品です。「あゆみ(短編)」は、二人の少女の物語を数人の役者が入れ替わりながら歩き続け演じていく対照的な作品です。演劇的ななしかけに満ち、ままごとの魅力が詰まった作品を2本立てでお楽しみください。



「反復かつ連続」(オンライン公演)

「反復かつ連続」 【作・演出】柴幸男 【出演】小山薫子
「あゆみ(短編)」 【作・演出】柴幸男 【出演】石倉来輝 大石将弘 小山薫子 端田新菜

【りゅーとびあNext Stage “NE/ST(ネスト)”プラス】 ままごと「反復かつ連続」「あゆみ(短編)」
■2022.2.26(土)11:00開演・16:00開演(各回とも2作品上演) ■劇場



**能楽界を代表する出演者が
日本全国へ文化芸術の素晴らしさをお届け!**

**歌舞伎「勸進帳」のもとになった大曲が登場!
弁慶の力強い謡で、今年を乗り越えましょう!**

兄・源頼朝に追われる義経一行の安宅関越えを描いた大曲「安宅」をりゅーとびあで17年ぶりに上演します。弁慶が勸進帳を見事に読み上げる場面が有名で、歌舞伎十八番の「勸進帳」のもとになりました。安宅の関を無事越える義経・弁慶とともに、今年を乗り越え新しい年を迎えましょう!



能「安宅」

【日本全国 能楽キャラバン!】「観世流特別公演～安宅～」
■12.19(日)13:00開演 ■能楽堂

**新年を寿ぐめでた尽くしのお正月公演。
能楽堂で一年の“福”をゲット!**

新年、めでた尽くしの能・狂言をお楽しみいただけます。にぎやかで笑いにあふれた狂言「筑紫奥」で“笑う門には福来る”! 天下泰平・長寿を寿ぐ能「高砂」でおめでたいパワーをお受け取りください。令和4年の年始めは、能楽堂で“福”をゲットして良い一年をお迎えください。



能「高砂」

【日本全国 能楽キャラバン!】「宝生流特別公演～高砂～」
■2022.1.8(土)13:00開演 ■能楽堂

命をかけた母の愛! 能「海人」をテーマに能の魅力をご紹介します

丁寧な解説と実演形式で“能”の楽しみ方をご紹介します「能楽師に聞く 能の楽しみ」。現役の能楽師ならではの裏話や装束の着付けなど、通常の舞台では見られない内容が満載の大人気の能楽講座です。今回のテーマは能「海人」。“母である海人が、我が子を藤原氏の世継ぎにするため命をかけて竜宮から宝を取り戻す”という、何ともドラマチックな演目をテーマに能の見どころをご紹介します。ゲストには面打師の北澤秀太氏をお迎えし、「仮面劇」ともいわれる能にとって最も重要な道具である「面」(能面)について深くお話をうかがいます。



能「海人」

テーマ:能「海人」
【出演】佐々木多門(喜多流能楽師)・大島輝久(喜多流能楽師)・友枝真也(喜多流能楽師)
塩津圭介(喜多流能楽師)・梅内美華子(歌人)
【ゲスト】北澤秀太(面打師)

能楽講座第3回「能楽師に聞く 能の楽しみ」～「海人」編～ ■2022.1.29(土)14:00開演 ■能楽堂

偏愛、 Noism

ファンがNoism愛を語るコーナー。ダンス経験者であり、声での表現を生業とする関根さんだからこそ感じるNoismの魅力とは？

vol.07

関根美紀さん

新潟市出身。NSTアナウンサーを経てフリーアナウンサーに。テレビ番組やCMのナレーション、FM-NIIGATAのニュースを担当。

「悔しい！」って思ってるんです
公演を観た後、実はいつも

基礎がしっかりあるからこそ自由に表現できる。

強烈な違和感が魅力

高校生までの13年間、モダンダンスを習ってました。ささいでかわいらしい動きや作品が多かったの、Noismの公演を観て「ダンスで観客に“違和感”を与えられるんだ！」と衝撃を受けました。動きはもちろん、美術や照明——いい意味での「強烈な違和感」をいつも与えてもらっています。この感覚を自意識の固まらない、感受性豊かな子ども時代に味わえたら、何かが変わっていたかも。

Noismのすごさは子どもにも伝わるはず！



基礎って大事！

Noismを観るたびに、踊っていて軸のぶれない、舞踊家の皆さんの身体性の高さを身に染みて感じます。加えて思うのが、しっかりとした基礎があるからこそ、自由な表現ができるんだということ。一步先へ進みたいなら、ちゃんと基礎をやっておくべきだとNoismから教えてもらいました。だから自分も発声練習や滑舌練習をしようという気持ちになりますし、公演後には実際に練習しています！

公演後は「悔しい！」

公演を観た後、いつも「悔しい！」って思っちゃうんです(笑)。それは舞台上でここまで表現できることへのうらやましさや、そこにたどり着くまでの努力は嘘をつかないということを見せつけられているようで、自分は全然努力が足りないと思ってしまうから。この「叩きのめされる」感覚を味わってほしいんです。それで私は毎回公演後に基礎練習を始めるという(笑)。Noismには仕事をやる上でのやる気ももらっています。



悔しさを仕事のモチベーションに繋げてます！

取材・文：霜鳥 彩(ジョイフルタウン)

Next Performance

Noism0 / Noism1 「境界」

12.17(金)19:00・18(土)17:00・19(日)15:00 劇場 >>> 詳しくは [りゅーとびあカレンダーへ](#)

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismではレジデンシャル活動を支援して下さる企業・個人スポンサーを募集しております。詳しくは <https://noism.jp/support/>

撮影：篠山紀信

りゅーとびあ等をご利用いただく公演、県内の公立文化施設の自主事業をご紹介します！

各公演記載のマークは下記のとおりです。

チケット取扱い：[A]りゅーとびあ2Fインフォメーション [B]新潟県民会館 [C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージックリテイリング新潟 [E]コンチェルト [F]インフォメーションセンター えん(新潟日報メディアシップ1階)

本ページはりゅーとびあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとびあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

11/1 (月) **ついたちはガチバッハ** 第三期
市橋靖子(フルート)、笠原恒則(チェンバロ)のデュオで、バッハのフルートソナタを一曲ずつ取り上げていくシリーズです。

11月1日(月) 14:00~15:00
Program
道城美羽 / 半夜の子(初演) Fg:小武内茜, Va:佐々木友子
河内琢夫 / <立冬> Pf:渡部乃亜, S.B:河内琢夫
フィドール / リコーダーと通奏低音のためのソナタ 短調
コレルリ / ラ・フォリア ほか



■助演:渋谷陽子(チェロ)
りゅーとびあ スタジオA
全席自由 ¥1,000(当日¥1,200)
第四期 公演予定
2022年4月1日(金)・7月1日(金)
チケット取扱い:[A][E]

ご予約・お問い合わせ TEL 090-2932-0052 / kasahara.cembalo@gmail.com

11/6 (土) **越の風vol.10**
現代作曲家が贈る新しい音楽の風

11月6日(土) 14:00開演
Program
道城美羽 / 半夜の子(初演) Fg:小武内茜, Va:佐々木友子
河内琢夫 / <立冬> Pf:渡部乃亜, S.B:河内琢夫
竹田真和 / 三つの退廃的断片 Bar:野口雅史, Pf:柴長敬子
後藤 丹 / 四季-北のうつろい Cl:広瀬寿美, Vn:廣川抄子, Pf:渡部乃亜
遠藤雅夫 / 歌曲集 雨の唄(初演) Sop:小山瑠美子, Pf:渡部乃亜
小西奈雅子 / September Song Vn:廣川抄子, Pf:石井朋子
阿部亮太郎 / この世の風 第4番(初演) Va:佐々木友子, Vb:倉澤桃子
斎藤竜夫 / 浮遊する記憶II トリオ・ベルガモ
富山珠実 / Prayer(初演) Pf:富山夏帆, 富山珠実
置岡淳子 / 「四つの情景」より Pf:青島雄夕, 置岡淳子
小西奈雅子 / 小組曲「妖精たちの庭」(初演) Pf:山田有莉
後藤 丹 / 「風透る街に」より Pf:岡崎央陸



りゅーとびあ スタジオA (当日¥500増・小学生未満無料)
全席自由 ¥3,000 小中高生 ¥2,000 チケット取扱い:[C][D][E][F]

お問い合わせ TEL 025-386-4975 / n.koshinokaze@gmail.com

11/14 (日) **クリスチャン・ツイメルマン**
ピアノ・リサイタル

現代最高と評される世界的ピアニストがアルフォーレへ3度目の登場。世界で3本の指に入ると絶賛したホールで奏でる極上の響きをご堪能ください。



11月14日(日) 17:00開演
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定 S ¥7,000 A ¥5,500
※大学生以下各2,000円引き(アルフォーレのみ取扱い)
※未就学児入場不可
チケット取扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ、セブンチケット ほか

主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ / TEL 0257-21-0010

11/21 (日) **春風亭小朝 花形独演会**
柏崎古典フェスティバル2021 アルフォーレ特選寄席

常に新しい企画に挑み、多くの劇場公演の実績と話題性を積み重ねて今日の落語ブームを創り上げ、落語界を牽引している春風亭小朝の磨き抜かれた話芸と、「水戸大神楽曲芸」宗家と若宗家揃っての技芸もお楽しみください。



11月21日(日) 14:00開演
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定 1階席¥3,500 2階席¥3,000
※未就学児入場不可
チケット取扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ、セブンチケット ほか

■出演:春風亭小朝、柳貴家正楽、柳貴家雪之介 ほか
主催・お問い合わせ 古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会(柏崎市文化会館アルフォーレ) TEL 0257-21-0010

11/28 (日) **津軽三味線の世界 史佳Fumiyoshi**
柏崎古典フェスティバル2021 日本の伝統芸能

2019年にニューヨーク・カーネギーホールでの単独公演を成功させ、三味線芸術の新たな境地を開く三味線プレーヤー・史佳Fumiyoshiによる「津軽三味線」の魅力と魂の響きをご堪能ください。



11月28日(日) 14:00開演
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席自由 ¥1,500
※未就学児入場不可
チケット取扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ、セブンチケット ほか

■出演:史佳Fumiyoshi、高橋 竹育、更家 健吾

主催・お問い合わせ 古典を活かした柏崎地域活性化事業実行委員会(柏崎市文化会館アルフォーレ) TEL 0257-21-0010

11/29 (月) **第五 2021**
フルート 市橋靖子 ピアノ 川崎祥子

一か月の中で、なんとなく得をした気分になる第五週。月の終わりの「おまけ」の日に、ご自分のためのスペシャルな時間をお過ごしになれません。演奏曲は、会場内でお配りするメニューよりお選び下さい。

11月29日(月) 14:00~15:00
りゅーとびあ スタジオA
全席自由 ¥2,000(当日¥2,500)
チケット取扱い:[A][E][F]

主催・お問い合わせ 木の温もりの音楽事務局 TEL 080-4511-7494 / kinonukumorinoongaku@gmail.com



りゅーとびあ専属オルガニスト・石丸由佳の

オルガン武者修行!

石丸さんの海外留学はトラブルばかり...でもないのです。本場でしか見ることのできない国宝級のオルガンとの出会いに、心を震わせる石丸さんなのでした。

文・写真提供:石丸由佳



profile オフィシャルウェブ▶
石丸由佳 ISHIMARU Yuka
新潟市生まれ。りゅーとびあで初めてパイプオルガンに触れたことがきっかけでプロの道へ。10か国100か所以上のコンサートをこなして、今に至る。



一音弾くだけでタイムスリップ!

デンマークに着いてから踏んだり蹴つたりの生活をしていましたが(※これまでの記事参照)、ヨーロッパでオルガン修行をする醍醐味は、名器に会いに行くこと。

童話作家アンデルセンを生んだおとぎの国、デンマークにはたくさんのお城があります。私がオルガン詣りに出かけたのは、コペンハーゲン近郊のフレデリクスボー城。このお城の礼拝堂は豪華絢爛な空間で、向かい合わせに2台のオルガンがあるのですが、お目当ては1610年製コンペニウス・オルガンです。

木箱のような見た目ですが、パイプも全て木製で、本当に美しい音がします。一音弾くだけでタイムスリップできるのがオルガンの面白さのひとつです。

鍵盤ひとつひとつにも細かい装飾が施されています。



▶鍵盤ひとつひとつにも細かい装飾が施されています。

▲音色を選ぶストップが全て顔になっています。畏れ多い(というかちょっと怖い)ながらもこれを引っ張って音を出します。

りゅーとびあ SHOP 通信

当館2階、インフォメーションに併設されている「りゅーとびあSHOP」では、常時約200点の商品を販売しています。楽器モチーフのアクセサリや食器類、Noismのオフィシャルグッズ、お土産品、和小物など、幅広いラインナップを用意! お店をのぞいてみれば、きっとお気に入りのアイテムに出合えるはず。



コレがオススメ!

ジャガードミニタオル
各¥550



一辺
23cm!

綿
100%!

吸水性に優れた今治産の高品質ミニタオル。優しい触り心地でふんわりやわらか。ピンクとブルーの2色からお選びください。

マグカップ 楽器総柄
¥1,540



たくさんの音楽アイテムが手書き風を描かれていてとってもにぎやか! プレゼントにもおすすめです。

エコバッグ 音符
¥1,100



色鮮やかな音符が楽しいエコバッグ! 折り畳んでバッグに入れておけます。底面部はマチ付きで収納力バツグン!

※価格は全て税込です。

りゅーとびあSHOP
(館内2F インフォメーション)
営業時間 11:00 ~ 19:00 (休館日除く)

スタッフの
イチオシ



和小物
ティッシュケース ¥900
ペンケース ¥1,100
和柄の小物も販売しております。
ぜひお気軽にお立ち寄りください!



それゆけ園芸部!

~りゅーとびあの庭へようこそ~

屋上庭園や中庭などの花や木々を見守り、お世話している「りゅーとびあ園芸部」。今年の夏は記録的な暑さとなり、多くの花や芝が枯れてしまいましたが、植物ってやっぱりすごい。復活の兆しが見えてきました。



1. 毎年、秋の屋上庭園を彩るパンパスグラス。夕日に染まる姿が美しい。2. チェリーセージは植えっぱなしで初夏から秋まで長く咲く宿根草。毎年かわいい花を付けてくれる。3. りゅーとびあの建物周辺を縁取る色とりどりの紅葉も楽しみ。



施設・利用課 / Sさん
園芸部リーダー。趣味の庭いじりを業務にいかして活躍中。出勤日はほぼ屋上庭園に上がる。育てた花にSNSでたくさんの「いいね!」が付くことが何よりの励み。

復活の兆しを見せる草木

枯れてしまったアトリス

最高気温を更新するほどの暑さで枯れてしまった草木や芝生。園芸部のメンバーは悲しみに暮れた。



青々とした芝生が戻ってきた!

一見枯れて見えた芝生は、実は生きていた。たっぷり水をやって数週間で復活してくる、生命の不思議。

PICK UP!

この夏で大活躍した暑さ対策グッズ。帽子や腕カバー、サングラスは必須!



オペラシアターこんにやく座 オペラ
『口はロボットの口』
*11.28(日) 13:30開演 *劇場

たくさん笑って、思わず泣いて。親子で心温まるひとときをお過ごしください! キミを守るためなら、ボクは壊れたっていい...。本当に大切なことは何か、テトと一緒に考えてみませんか? 人生、悲しいことや辛いことだらけ。それでも人を好きになるって、やっぱり素晴らしい。